

令和元年度山梨県立図書館協力会活動報告

竹田 泉

私たち山梨県立図書館協力会は、案内・配架、代読、環境美化、修理、書庫開放、外国語絵本の読み聞かせなどのボランティア活動を通して利用者の皆様により良い環境、サービスを提供すべく活動継続しています。

4月19日に委嘱式、協力会総会に引き続き昨年度より就任されました金田一秀穂館長との懇談会を実施し、今年度は新元号となることから気持ちも新たにスタート致しました。

首記の日常活動に加えて、いくつかの全体行事を行っており、それらについてご紹介させていただきます。

今年度初めての企画として、協力員相互の交流と日常活動以外の一面を利用者の皆さんに知っていただくことを目的に8月11日、山の日に「ワークショップ」を開催致しました。

これは、児童生徒を対象とした協力員各位の特技、趣味を生かした工作、生け花などの実技講習と絵画・手工芸作品の展示となるものですが、特に実技講習は予想以上の人出となり開場前に列ができ、用意した材料すべてが早期に配布完了となってしまいました。また、地元のテレビ局からの取材もあって、好評裏に終了したことから、今回の結果から来年度以降も開催をしたいと考えております。

11月17日には恒例となった「第6回贈りたい本の市」を昨年度と同様、ベジフードフェスに共催し、よっちゃばれ広場での開催致しました。こちらも天候に恵まれ多くの方に来訪していただき、活気あるものとなり、売り上げ金は山日 YBS 厚生文化事業団、山梨県共同募金会、フードバンク山梨の三者に寄付させていただきました。

年が明け3月7日には、自主研修として山梨県立考古博物館の見学、ボランティア組織担当者の方との交流を通し、協力会活動の充実を図るべく計画を進めてまいりましたが、直前に新型コロナウイルスの感染拡大の懸念から中止となってしまいました。

その後、ご存知の通り県立図書館も臨時休館となり、協力会の活動も全て休止のやむなきとなってしまうました。

今は一日も早くにコロナウイルス禍が収束し、日常を取り戻すとともに、県立図書館が再開されることを願うばかりです。